

3

地域・文化への貢献と 農業振興

1. 地域貢献情報

JAは、農業者を中心に地域のみなさまが組合員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、農業・地域の活性化に資する地域金融機関を目指しています。

また、みなさまからお預かりした貯金等の資金は、資金を必要とする組合員や地域のみなさまなどにご融資し、農業、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいています。

JAは金融ばかりでなく総合的に事業活動をしています。また、農業や地域の活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めています。

(1) 社会貢献活動

●交通安全宣言書の提出

秋の全国交通安全運動にあわせて、沼津警察署と裾野警察署へ「交通安全宣言書」を提出しました。役職員とその家族が安全運転を宣言するもので、毎年実施し、交通安全への意識を高めています。令和2年度は、合計506世帯、1,288名分の署名を提出しました。



■交通安全宣言書提出

●24時間テレビ募金活動

JAなんすん本店が24時間テレビのチャリティー募金会場となり、高校生ボランティアとともに募金を呼びかけました。ふるさと産直市を同時開催し、当日は多くの方が来店し多数の募金が集まりました。



■24時間テレビ募金活動

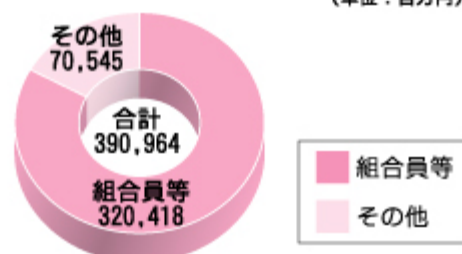
(2) 地域貢献情報

●地域からの資金調達の状況

組合員をはじめ利用者のみなさまからお預かりした貯金等の残高は390,964百万円です。資格別貯金等残高の内訳は右のグラフのとおりです。

貯金等残高

(単位：百万円)

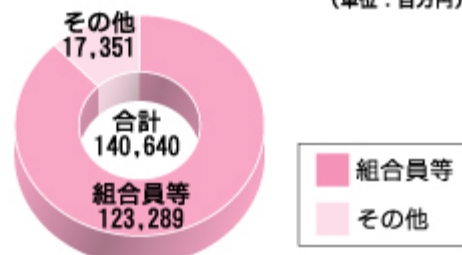


●地域への資金供給の状況

組合員をはじめ利用者のみなさまへご融資した貸出金の残高は、140,640百万円です。資格別貸出金残高の内訳は右のグラフのとおりです。

貸出金残高

(単位：百万円)



●地域密着型金融への取り組み

- 地域農業者との結び付きを強化し、地域農業活性化のため、各種農業資金を提供するとともに、農業制度資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 各支店に担い手金融担当者を設置し、営農生活部門と連携しながら担い手農業者に対する資金ニーズ等を把握し、農業振興や資金対応を行うことに努めています。
- 就農支援資金により新規就農者への経営支援や地域農業活性化に努めています。

●文化的、社会的貢献に関する事項

- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた沼津市内の事業者に対して、持続的な事業運営と経済振興につなげる目的で、主要機関による連携支援協定を締結しました。新規事業、創業支援、販路開拓、経営改善、金融支援等について協議、情報交換を行います。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、地域医療体制を支える管内の主要な医療機関へ応援と感謝の気持ちを込めて「西浦みかん寿太郎」、「ぬまっちゃん」を贈呈しました。



■医療機関へ「西浦みかん寿太郎」贈呈



■医療機関へ「ぬまっちゃん」贈呈

2. 農業振興活動

JAは、農業を基軸とした協同組織です。農業は地域の重要な産業であり、JAは地域農業を振興していくため、次のような事業・活動を展開しています。また地域環境、青少年の教育などにも農業は有益と考え、農家組合員とともに地域のみなさまが農業とふれあう機会を提供しています。

●JAなんすん自己改革実践計画の取り組み

平成27年度より、「農家組合員の農業所得の向上」や「地域社会への適切なサービス提供」の実現に向けて独自の自己改革を定め、各種の施策に取り組んでいます。

農業経営支援策では、生産基盤の整備促進と生産コストの削減により更なる経営の安定化を図るため「JAなんすん農業経営支援制度」の利用促進を図り、6年間の合計で4,143件、13,754万円を助成しました。農家組合員の高齢化に伴う労働力支援対策として配置した「援農隊」においては、6年間の合計で813件、16,015aの農作業を受託し、援農ボランティアについては、平成22年度から11年間の合計で支援農家438軒、ボランティア延べ8,239人を募集しました。

また、生産資材の価格抑制に向けて肥料・農薬の予約注文商品と特別価格商品の共同購入をすすめました。

※自己改革の取り組みについては、JAなんすんホームページ内、「JAなんすん自己改革」をご覧ください。

<http://www.ja-nansun.or.jp/>



■援農隊によるハウスの補修

●安全・安心な農産物づくりへの取り組み

- 産直市会員、部会組織会員に対する出荷農産物の生産履歴記帳を推進し、安全・安心な農産物生産を指導しています。
- 「土壌・農薬分析センター」において管内農産物の自主検査を行い、安全な農産物の生産に努めています。

●農家後継者育成・新規就農者への支援

- 次代の担い手支援として管内の農家後継者・若手農業者への個別指導に加え、研修会を開催し農業に役立つ情報の提供や仲間づくりを行いました。
- 農家後継者を育成するために、「農家後継者育成雇用制度」を平成19年度から導入しています。この制度は、就農するまでの期間、JAの業務を通じてさまざまな経験をしてもらい、人脈を広げる機会を提供するための制度です。現在2名が勤務しています。



■残留農薬検査

●地産地消への取り組み

- その地域で生産したものをその地域で消費する地産地消は、生産者と消費者の距離を縮め、相互の理解が深まります。フードマイレージの観点からも、環境への負荷の軽減に貢献しています。管内10か所の産直市・朝市において、地域農業の活性化や地産地消を推進しています。



■田植え

●地域環境、食農教育への取り組み

- 青壮年部活動では、子どもたちを対象とした田植え、稲刈り、さつまいも掘り体験などの農業体験学習を実施しています。
- 女性部活動では、プルタブを回収し福祉施設へ車椅子の寄贈、雑巾作りを実施しています。
- 小学3年生～6年生を対象とした「あぐりスクール」を開催し、農業を学び、その大変さを体験する機会を提供しています。
- 「するがの極出前授業」を実施し、地産地消の奨励とお米の出来るまでを学びます。
- 「西浦みかん寿太郎」「沼津茶」を管内小学生に贈呈し、子どもたちの地域の特産品への理解を深め、郷土の誇りを大切にする気持ちを育みます。



■稲刈り



■するがの極出前授業

●地域農業と触れ合う機会の提供

- 各地区の農業祭に参加し、地域農業、地元特産品の普及に努めています。また、みどりまつりや産直市・朝市での感謝イベントの開催等を通じ、地域のみなさまとのふれあい活動を展開しています。



■沼津農林まつり